

昭和57年
特別展

(1) 近世資料展

(5月11日～6月10日)

(担当 土井)

平塚市史2 資料編近世(1)の発刊にあわせ、市史に収録されている旧平塚・大野・豊田・神田城島・岡崎の各地区の資料のうち、特徴ある資料53点を展示した。

- 会場 特別展示室
- 出品資料 53点 資料所蔵者25名から資料を借用し出品に協力をあおぐ。
- 展示解説書 B5版 29頁 500部

(2) 秋期特別展 名墨展 (10月12日～10月24日)

(担当 土井)

茶室をもつ博物館の実情を考慮し、茶掛けとして珍重される禅林墨跡の名筆を集め、禅林美術の一端を紹介した。

- 展示解説書 B5版 10頁 1,500部

◦会場 特別展示室

◦出品内容 沢庵 江月 江雪 清巖 天裕 天室 翠巖 宙宝 白隠 木庵 即非 古田織部 八條宮智仁親王 松花堂昭乗などの一行書 法語 問答語 手紙 詠草 懐紙など28点。

(3) 野鳥生態写真展 (12月1日～12月26日)

(担当 浜口)

平塚市周辺で観察される野鳥の生態をカラーおよびモノクロの写真パネル(全紙大)で展示した。カラー写真パネルの製作にあたっては、新倉三佐雄氏のご協力をえ、原版を借用して引き出しを行った。

- ②水辺の冬鳥 シロチドリ、ハマシギ、ミュビシギ、ユリカモメなどカラー3点、モノクロ6点。
- ③千潟の渡り鳥 メダイチドリ、キョウジョシギ、ムナグロなどカラー10点。
- ④子育ての希節 ツバメ、イワツバメ、コアジサシ、カルガモ、ヒヨドリなどカラー3点、モノクロ8点。
合計カラー23点、モノクロ14点。

◦会場 特別展示室

◦展示構成と展示物

- ①冬を過ごす鳥 アトリ モズ ハクセキレイ ムクドリ of カラー7点。

(4) 市民のアトリエ・デッサン教室作品展

(4月2日～4月20日)

(担当 森田)

本年度会員72名のうち、最終まで継続し作品展へ出品できた会員は31名で、年間開催日数延22日の中から描かれた31点を額装(デッサン額80×80cm)し、特別展示室にてその成果の一端を公開した。初心者は石膏胸像アグリッパを、継続会員にはアリアスをモチーフとした。

(アグリッパ 14点)

(アリアス 17点)

◦作品 B2サイズ鉛筆デッサン

- 陳列物 タイトルパネル 201cm×201cm 1枚
- あいさつパネル 51×72cm 1枚
- 解説パネル 42×42cm 2枚
- 石膏胸像 アグリッパ 1体
- アリアス 1体

石膏胸像をモチーフにした作品31点